



教科名：

工作

2025年度

実習

一級自動車工学科

時 期：

3 年

前期

科 目：

工作作業

時限数：

18時限

<改訂履歴>

改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
FY19	メンテナンスのため		
FY20	メンテナンスのため	3/18	西浦、中野
FY21	メンテナンスのため	3/31	西浦、森田
FY22	メンテナンスのため	3/31	中野、合田
FY23	メンテナンスのため	3/31	西浦、小倉
FY24	メンテナンスのため	3/31	西浦、小倉

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科		2025年度		授業計画	
時 期	3 年前期	単 元	実 習	教科名	工 作
科 目	工作作業	教科書等 持参品	保護メガネ	発行日	2018/12/22新規
			テスター		
※ 注1 総時限	18時限				教科担
※ 注1 授業時間	28.8時間			当	長井一真
一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は3872.0時間（50分ベース）を確保（法定合計時間3670時間（50分ベース））					
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当					
自動車整備士として自動車整備工場の実務経験がある教員により工作作業を指導する					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）					
1. 整備工場で使用する機械工具及び電気工具の取り扱いを習得する 2. 基本作業の中で安全作業のポイントを理解・習得する 3. 物作りの基本を学ぶ（企画・設計、製作、完成検査）					
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）					
1. 各工具の安全で適切な使用方法 1) 機械工具（ヤスリ、カッター、圧着ペンチ、逆タップ、金ノコ） 2) 電動工具（卓上ボール盤、電動ドリル、卓上グラインダー） 3) 電気工具（半田コテ） ※ 1) ～ 3) の正しい取り扱いが出来る 2. 基本作業が安全に出来る 1) 電工ペンチによるギボン端子圧着作業 3. 用途に沿った製品を製作することが出来る					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）					
実習評価点は、技術評価点（70点）＋レポート評価点（15点）＋取組評価点（15点）とし、 70点以上を合格とする 技術評価点 ・実技試験 100% 機械工具、電動工具、電気工具の基本取り扱い					
5. 準備学習					
自動車整備工具・機器の工作作業に必要な箇所を読んでおく					
※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す ※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者					
6. 指導目標					
1. 各工具を安全に留意して使用することを理解させる 2. 各作業を行う際、まず危険予知を行い安全を意識して行うことを理解させる 3. 決められた規格の中で自らのアイデアにより製品を設計・製作する能力を身に付けさせる 4. 納期を意識して仕事をする事の必要性を理解させる					

2025年度 授業計画

[illegible]

一級自動車工学科		2025年度		授業計画	
時 期	前期	単元	実習	教科名	工作
7. 安全（KYのため必ず授業内で説明）					
番号	作業名	遵守事項		災害事例	チェック
1	ドアの開閉	・閉める時は、ドア周りに手を添えないようにし、手を離さず最後まで添えて静かにドアを閉める		・勢いよく手を離して閉めたため他の学生の手を挟んだ	
2	イグニッションスイッチ操作	・イグニッションスイッチの操作をする場合声かけを行い返事を確認してから操作する		・イグニッションスイッチをONする際エンジン始動でないからと合図を行わず操作したところ、誤ってスタート位置までキーを回してしまいエンジンルームの作業を行っていた作業者が手を巻き込まれそうになった。	
8. 授業レイアウト（写真の貼り付けも可）					
実習場			座学教室		
第1実習場シャッター側（リフトNo.6,7及び13～15使用）					
No7 No6					
No15 No14 No13					